⑩ 特許出願公開

# @ 公 關 特 許 公 報 (A) 平2-205697

®Int. Cl. 5

識別記号 庁内整理番号

43公開 平成2年(1990)8月15日

C 25 D 5/08 H 01 L 21/321 7325-4K

6810-5F H 01 L 21/92

F

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

**ᡚ発明の名称** パンプメッキ装置

②特 顯 平1-25510

20出 頭 平1(1989)2月3日

⑩発 明 者 吉 岡 直 人 東京都港区芝 5 丁目33番 1 号 日本電気株式会社内

**⑰出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目7番1号** 

個代 理 人 弁理士 菅 野 中

明細母

1. 発明の名称

バンプメッキ装包

- 2. 特許 前求の 短囲
- (1) ウェーハをメッキ用カップ内に殺面を上に した状態で保持する手段と、該カップ内に下方か らメッキ液を啜流させて、メッキ処理を行う手段 とを有することを特徴とするバンプメッキ装置。
- 3. 発明の詳細な説明

〔彦粲上の利用分野〕

本発明は半導体設定装置に関し、特にバンプ形成工程において使用されるバンプメッキ装置に関する.

〔従来の技術〕

従来のバンプメッキ装置としては、ウェーハを メッキカップ上にフェースダウンの状態でセット し、メッキ液を啜流させてウェーハ表面とメッキ 液を接触させ、ウェーハとメッキカップ中取付け た図極とに図流を流して、ウェーハ上にメッキ処 理を行うメッキ液啜流方式のバンプメッキ装置が 88.

(発明が解決しようとする課題)

上途した従来のバンアメッキ装置はメッキカップ上にウェーハをフェースダウンの状態でセットし、メッキ処理を行うため、メッキ処理中に発生するガス及びメッキ液の吸流中に発生する気泡がウェーハ上に付着し、ウェーハの一部にメッキが促進されない部分が発生し、ウェーハ面内のメッキ膜厚のバラツキが大きくなるという欠点がある。

本発明の目的は前記課題を解決したパンプメッキ装置を提供することにある。

(発明の従来技術に対する相違点)

上述した従来のバンプメッキ装置に対し、本発明はメッキカップの中に、ウェーハをフェースアップ状態でセットし、メッキ処理を行うという相迎点を有する。

(課題を解決するための手段)

前記目的を迫成するため、本発明に係るバンプ メッキ装置は、ウェーハをメッキ用カップ内に表 面を上にした状態で保持する手段と、該カップ内 に下方からメッキ液を噴流させて、メッキ処理を 行う手段とを有するものである。

#### 〔実施例〕

以下、本発明の一実施例を図により説明する。 第1図は本発明の一実施例を示す縦断面図である。

図において、1はメッキ上カップ固定カバー、2はメッキ上カップ、3は電極用電気配線、4はメッキ用電極、5はウェーハ、6はウェーハチャックである。7はスライドウェーハホルダ、8はメッキ用電極、9はメッキ下カップ、10はメッキ液槽、11はメッキ用電極である。また、12はメッキ液噴流口、13は電極用電気配線、14はバキュームライン、15はテフロンシールである。

ウェーハチャック 6 上にウェーハ 5 をセットする。ウェーハチャック 6 とメッキ用電極 8 は同じ高さにあるため、ウェーハ 5 をウェーハチャック 6 上にセットした時点で、メッキ用電極 8 とのコンタクトはとれる。次に、ウェーハ 5 がウェーハチャック 6 上にセットされると、スライドウェー

固定力パー1が上昇する。次に、スライドウェー ハホルダ7が開き、ウェーハ5を取り出し、次に メッキ処理を行うウェーハ5をセットする。

## [発明の効果]

以上説明したように本発明はメッキ用カップ内にウェーハをフェースアップ状態でセットし、メッキ処理を行うことにより、メッキ中に発生するガス及びメッキ液噴流中に発生する泡がウェーハ上に付着することを防ぐことが可能であるため、ウェーハ上のメッキが促進されないという部分が除去され、ウェーハ内でのメッキ膜厚のバラッキを低減させることができる効果がある。

## 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例を示す縦断面図である。

1…メッキ上カップ固定カバー

2 … メッキ上カップ 3 … 電極用電気配線

4 … メッキ用電板 5 … ウェーハ

6…ウェーハチャック

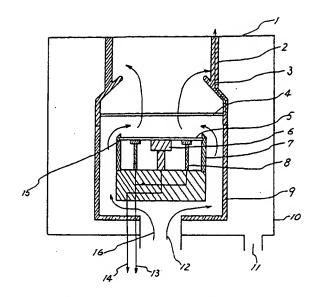
7 … スライドウェーハホルダ

ハホルダフが動作し、ウェーハラをホールドする。 ウェーハ5とスライドウェーハホルダフとの接点 はテフンシール15になっており、内部にメッキ液 が浸透するのを防ぐ、次に、メッキ上カップ固定 カバー1が下降し、メッキ上カップ2とメッキ下 カップ9を接合させる。次に、メッキ液をメッキ 液噴流口12より、メッキカップ2内に噴流させる。 メッキ液がメッキ上カップ2よりオーバーフロー した後、メッキ用電極4、8に電流を流し、メッ キ処理が開始する。メッキ中に発生するガス及び 噴流時に発生する気泡はメッキ液噴流の流れ16に 乗じてメッキ上カップ2の外に流出するため、ウ ェーハ5上に付着してメッキの妨げとなることが なく、ウェーハラの一部がメッキ未処理、又はウ ェーハ内のメッキ膜厚のバラツキを抑えることが 可能となる。

次に、メッキ処理終了と同時に、メッキ電極4. 8への電流供給が停止する。次に、メッキ液の噴流が停止し、メッキ液の液面がスライドウェーハホルダ7より低くなった時点で、メッキ上カップ

8 ··· メッキ用電極9 ··· メッキ下カップ10 ··· メッキ液槽11 ··· メッキ液排出口12 ··· メッキ液噴流口13 ··· 電極用電気配線

14… バキュームライン 15… テフロンシール



第 1 图 メッキ処理室内部の鉄断面図

ノー・メッキ上カップ、固定カバー	9·・・·メッキ下カップ
2ー・メッキ上カップ	10 火火液槽
3…電極用電気配練	ハーメッキ焼排出口
4 メッキ用電極	12 メッキ於實施口
5···ウェーハ	13 电在用电负配换
6 71-11447	14・・バキュ・ム ライン
クー・スライドウェーハホルダ	15…テフロンシール

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 02205697 A

(43) Date of publication of application: 15.08.90

(51) Int. CI

C25D 5/08 H01L 21/321

(21) Application number: 01025510

(22) Date of filing: 03.02.89

(71) Applicant:

**NEC CORP** 

(72) Inventor:

YOSHIOKA NAOTO

# (54) BUMP PLATING DEVICE

# (57) Abstract:

PURPOSE: To decrease the fluctuation in the thickness of the plating film within a wafer surface by holding the wafer in the state of directing the surface upward in a cup for plating and injecting a plating liquid from below into the cup, thereby executing bump plating.

CONSTITUTION: The water 5 with the front surface faced upward is held by means of a slide wafer holder 7 and a vacuum chuck 6 into the cup for plating consisting of the upper and lower cups 2, 9 in a plating liquid tank 10 having a plating liquid discharge port 11. The plating liquid jet 16 is supplied from the lower cup 9 for plating to the upper cup 2 and is brought into contact with the front surface of the wafer 5. A plating current is then passed to an electrode 8 connected to the wafer 5 and an electrode 4 facing the wafer 5 respectively via electric wirings 13, 3, by which the plating treatment is executed. The bubbles of the gas in the plating liquid are discharged together with the plating liquid from the upper cup 2 to the plating liquid tank 10 without stagnating on the wafer 5 to prevent the generation of the plating defective part on

## the wafer 5.

COPYRIGHT: (C)1990,JPO&Japio

